

派遣留学生帰国報告書

* 復学後の情報を入力してください

記入日	2016年9月1日		
所属学部	工学研究科		
所属学科・専攻	デザイン科学専攻		

1. 留学先について

留学先大学名	ミラノ工科大学			
留学先所属学部等	デザイン科			
留学期間	出発日 2015/9/1	入学日 2015/10/5	修了日 2016/7/31	帰国日 2016/8/4
住居	<input type="checkbox"/> 大学(紹介)の寮・アパート	<input checked="" type="checkbox"/> 民間アパート	<input type="checkbox"/> その他()	
	通学時間	40分		<input type="checkbox"/> On campus
	通学方法	地下鉄、トラムを利用		
	居室スペース	<input checked="" type="checkbox"/> 個室	<input type="checkbox"/> () 人部屋	<input type="checkbox"/> その他()
	共有スペース	<input type="checkbox"/> 完全個室 <input checked="" type="checkbox"/> キッチン <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> リビング <input type="checkbox"/> その他()		
食事	自炊 90 %	学食 %	外食 10 %	その他 % () * %で記入してください
保険	海外旅行保険(名称)	AIU保険		
	大学指定の保険(名称)	JASSO		<input checked="" type="checkbox"/> 強制加入
	その他			
渡航ルート	ex.) 成田⇄シカゴ(飛行機)⇄ウィスコンシン(電車)			
	成田空港	⇄	ミラノ(飛行機)	⇄ ミラノ市内(バス)

2. 留学にかかった費用について

総費用	250万	円	* おおよそでかまいません。			
出処						
自費	<input checked="" type="checkbox"/> 貯金	円	<input type="checkbox"/> アルバイト	円	<input type="checkbox"/> その他	円
援助	<input checked="" type="checkbox"/> 両親	円	<input type="checkbox"/> 家族・親戚	円	<input type="checkbox"/> その他	円
奨学金	<input checked="" type="checkbox"/> JASSO	円	<input type="checkbox"/> その他名称()			円
その他	<input type="checkbox"/> 千葉大学助成金	円	<input type="checkbox"/> その他()			円

2-1. 財政管理の方法

渡航時	<input checked="" type="checkbox"/> 現金	円	<input type="checkbox"/> その他()	円
留学中	<input checked="" type="checkbox"/> 海外送金	<input type="checkbox"/> キャッシング	<input type="checkbox"/> その他()	

2-2. 各費用の支払い方法 ex.)全額、クレジットカードで。

大学に払った費用	なし
住居にかかった費用	全額、現金で
その他	

2-3. 内訳 * 外貨で払ったものについては日本円に換算したおおよその金額も記入してください

費目	外貨金額		円貨金額	
	通貨単位			
渡航費(往復)			12万	円
海外旅行保険			25万	円
OSSMA			8万	円
査証・在留許可証	€	250	3万	円
住居	€	5600	80万	円
食費	€	2500	35万	円
通学に要する交通費	€	250	3万5千	円
教科書、教材費	€	250	3万5千	円
その他大学に支払った経費		(なし)		円
光熱費		(家賃に含まれる)		円
その他 ()				円
その他 ()				円
その他 ()				円

3. 学業面

履修科目名 * 全て。足りない場合には別紙に記入してください。	種類 ex. 正規、聴講	単位数	単位互換認定申請の有無	
1 Art and language of the present	正規	6	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無
2 Design for the tactual experience	正規	6	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
3 Exhibition design studio	正規	12	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
4 Lighting design	正規	6	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
5 Temporary urban solitions	正規	6	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無

3-1. 授業科目の選択、登録方法

* 登録時期や千葉大学と異なる方法で登録する場合など具体的に説明してください。

選択方法について

1セメスターで最低10単位から最大36単位まで選択することができる。専門のコースごとに授業は開校されているが、異なるコースの授業も選択することができる。同じ内容で英語とイタリア語両方で開講されている授業もいくつかあり、ほとんどの留学生は英語の授業を選択する。

登録方法について

セメスター開始日から1週間以内にオンラインで履修登録をする。次セメスターの分まで登録できるので、すでに満席になってしまっている授業も多い。履修登録した授業を変更する場合、オンライン上で一部だけの変更ができず、もう一度最初から登録しなおさなければならない。

3-2. 授業内容、方法に関して

授業は1コマ4時間で講義はパワーポイントを使って行われる。学生数は1クラス50~100人程度で、デザインの授業はグループワークが多く4~5人のグループを作って作業をする。留学生が多いので、グループは違う国籍で組むことを指定される。毎週グループで作業した内容についてグループごとに先生に発表しチュータリングしてもらう。セメスターの最後の授業では10分~15分程度の最終作品についてのプレゼンテーションを行う。プレゼンテーションはA1のプレゼンテーションボードと模型を使って行う。

3-3. 語学力について

セメスターが始まるまでの1ヶ月間と春休み期間中に1ヶ月間、イタリア語の語学学校に通って日常会話に使うイタリア語を身につけました。

授業は英語で行われるものを履修していたので、リスニング力は普段の授業で向上しました。また、グループワークが多く、ディスカッションの機会がたくさんあったので積極的に自分のアイデアを発言しました。ディスカッションでうまく言えなかったことやよく理解できなかった内容などは後ほどグループにメッセージで今日の議事録として送信し明確にしました。

3-4. 図書館など学内施設について

図書館は学生証で中に入ることができるが、学生証の交付がとても遅く、学生証がない場合は特別な手続きが必要なため図書館の利用は十分にはできなかった。

学内施設については、モデリングに必要であるレーザー遮断機、3Dプリンター等は学内のは自由には利用できず、学校近くの模型材料ショップを利用していた。あまり充実しているとは言えなかった。

3-5. その他

4. 生活面 * 気づいたこと、心掛けたことなどをご記入ください。

4-1. 住居について

3~4人でキッチン、バスルームが共用のシェアアパートに約1年間暮らしていたが、ルームメイトの入れ替わりが激しくあまり落ち着かなかった。学校からはバスとトラムを乗り継いで40分ほどの場所で都心から離れた住宅街の中にあるが近くにはイタリアでは珍しい24時間営業のスーパーもあり便利な立地であった。

4-2. 食生活について

朝、晩は家で自炊、学校にはサンドイッチなどを持参していた。共有のキッチンで調理するが、住居が地下1階にあるため臭いがこもりやすくそれが原因でルームメイト同士のトラブルが何度かあった。ルームメイトもイタリア人に限らず多方面から来ている学生が多かったのでみんなで自分の国の料理を出し合うパーティなどを頻繁に行い理解し合うことで問題を解決した。

4-3. インターネット環境、携帯電話について

インターネット環境については住居、大学ともに問題なく動いた。街にあるカフェやショップなどもWiFiが使える場所がたくさんあり、よく利用していた。携帯電話については、最初数ヶ月は契約していたが上述したとおりWiFi環境が整っているのであまり必要ないと感じ途中から契約を解除した。

4-4. 服装について

日本よりは少し気温が低いので冬は暖かいコートが必要になった。宗教関係の施設では露出が多いと入れない場所もあるので、また、トラブルに巻き込まれないよう夏はできるだけ露出の少ない服装を意識していた。

4-5. 健康管理について

滞在期間中は気をつけていたこともあり、特に体調が悪くなることはなかったが、やはり慣れない環境にストレスを感じることは多かった。ひとりで旅行に出かけたり、日本人の友人とご飯に行くなどして解消した。

4-6. 保険、OSSMAの利用 * 利用実績等をご記入ください

特になし

4-7. 課外活動について

ミラノ市内に住む学生用に観光地や美術館、ロンバルディア州内の旅行が割引になるミラノカードというものがあり、それを有効に活用し、授業終わりや休日に美術館巡りと小旅行をしていた。

4-8. 学外のコミュニティとの交流について

友人にイタリア人の合気道の先生を紹介してもらい、合気道のレッスンを受けながら、日本語を教えていた。その際同時にイタリア語も学ぶことができた。合気道のレッスンに来ている学生は日本にとっても興味をもっている人が多く、毎週日本語について、日本の文化についてなどいろんなことを話した。その環境にいることはとても居心地がよく、勉強の合間のよいリフレッシュの時間になった。

4-9. 日本から持参してよかったもの

掃除道具や収納箱などは現地では大きいものしか売っておらず、個人の部屋はあまり大きくないので日本で購入できるコンパクトなものがとても役に立った。また、日本の調味料やお土産はルームメイトや学校の友達と初対面の際にはととてもいいコミュニケーションツールになるので持参してよかったと感じた。

4-10. 日本から持参したが不要だったもの

スーツケースとは別に、海外宅配便で冬服や靴を日本から送ったが、送料と関税が多額にかかってしまい、また指定の住所にも届かなかった。ほとんど現地で調達できるものばかりだったので現地で購入するほうが安かった。

4-11. 現地での対人関係について気づいたこと(習慣の違い、マナーなど)

イタリア人は人どうしの関係とつながりをとても大事にしているコミュニケーションを取ることが大好きである。イタリア人の友達が1人でもできたらその友達、そのまた友達と紹介してくれ一気に交友関係が広がる。旅行に行くと言っていると行きつけのレストランや知り合いのホテルを紹介してアポイントを取ってくれたりとても親切に対応してくれた。イタリアで生活していくにはこういったコネクションを大事にすることが重要だと感じた。

4-12. 余暇の過ごし方

旅行 * 複数回出かけた方はすべての日程、行き先、費用等をご記入ください。

ex) 【イギリス・ロンドン&フランス・パリ(観光)】〇〇年〇月(5日間)、約5万円

15年12月 チェコ プラハ&チェスキークロムルフ(4日間) 約4万円
 16年5月 フランス カンヌ&ニース&マントン (1週間) 約6万円
 16年7月 スペイン ビルバオ&マドリード (4日間) 約5万円
 16年8月 ポーランド ワルシャワ (2日間) 約2万円

その他 * 気分転換やストレス発散法など。

イタリアの田舎のお祭りめぐりをすると決めてお祭りの情報が出る度各地を訪れた。イタリアの地域のお祭りの日は仕事も学校も休みになるので小さい子供から高齢者の方まで皆んな盛り上がっていてとても地域性が出ているものばかりだった。

5. 報告

5-2. 留学先大学について(150~200文字)

イタリア・ミラノを拠点とした工学、建築、デザインの3学部からなる1986年創立の国立大学である。千葉大学に似て、工学的視点をもったデザインの教育が行われ、図書館、写真スタジオ、木工作室、電気工作室の施設も充実しており、デザイン・建築を学ぶ学生には魅力的な環境が整っている。また、イタリア語のみでなく英語で行われる授業も充実しているので各方面から多数の留学生が集まる。

5-3. 留学中の様子(450~500文字)

前半は環境に慣れること、授業についていくことで精一杯であったという間に過ぎて行きました。授業は週に3日、他の日は授業の予習復習とグループワークのミーティング、夜はルームメイトと食事と、慌ただしい日々でした。ストレスを感じることも多く、前期セメスターが終わる頃には10キロも体重が増えてしまいました。

前期セメスターで、やはり語学力がまだまだ足りないことを実感し長期休暇は英語とイタリア語の勉強に専念しました。息抜きにはイタリアの田舎地方に小旅行に出かけ、地元の人や旅先で会った人とイタリア語で話す特訓をしたりして過ごしていました。

長期休暇が終わり、後期セメスターが始まりました。友人の紹介で現地学生と合気道を始めることになり、大学で過ごす意外の時間をそれぞれうまく使うことができるようになりました。前期な反省を活かし、計画と目標を明確にたててのぞんだ後期セメスターは勉強、課外活動、旅行ととても充実したものでした。

5-4. 留学希望者へのアドバイス(300~400文字)

海外で暮らしてみるとうまくいかないことだらけです。私はイタリアに行ったらあれもこれもやりたいと夢をふくらまして出国しましたが、着いて1ヶ月もしないうちに、思い通りに行かないことが多すぎて自信をなくしてしまい、ふさぎこんでしまいました。留学期間を終えて、正直に言うと描いていた目標ややりたかったことの半分ほどしか達成することができませんでした。しかし、それ以上に出国前には全く想像もしてなかった体験や人との出会いがたくさんありました。留学希望者の方には、焦らず、考えすぎずに何事にもタフになって留学に望んでほしいです。

5-5. 留学を終えて * 派遣留学プログラムについて、今後の目標、進路、自信がたった部分、不安に思うことなどなんでも。

お疲れ様でした